

## 車いすに座っても動きやすいコートについて

### 1. はじめに

車いすで生活する子どもたちは、一般に市販されている衣服では動きづらかったり、脱いだり着たりすることが難しいことが多く、自分が望む衣服を着ることができず寂しい思いをしています。一方で、福祉衣料の制作は、それぞれの人の症状に適した多くの工夫が必要となり、これらの工夫を実現するためには高い技術力が要求されます。

当センターは、平成20年度より(公財)一宮地場産業ファッションデザインセンター、県立一宮養護学校及び地元企業と共同で、車いすで生活する子ども達の身体の動きに合わせた衣服のデザインや素材の検討を行い、着やすい・着せやすい工夫や、座った状態でもシルエットが美しくなる工夫を重ねています。具体的には、女子用の「スーツ」、「ジャケット」、「パンツ」、男子用の「スーツ」、「コート」などを開発してきました。

### 2. 開発品(レディースコート)の仕様

平成24年度は、「車いすがこぎやすく、クラッチで立ってもすっきりとしたかわいいコートが着たい」という女子生徒の希望をもとに、「レディースコート」の開発に取り組みました。

コートのような外衣は生地が厚いため、通常、腕や肩が動きにくくなります。そのため、車いすをこぐことが非常に大変になります。また、座ったときに裾がだぶついてしまうのもシルエットを崩す原因として課題となっていました。

一方、立つときや歩行の際に補助として使用

する杖であるクラッチのカフ(腕を固定する部分)が袖に引っかかるのも大きな課題でした。

開発したコート(図1)はこれらの課題を解決するための次のような工夫が盛り込まれています。

(1) 車いすがこぎやすいように肩から袖にかけて伸縮性の高い素材を組み合わせました(図2の赤丸部分)。

(2) クラッチで立ったときに前屈みになってしまうので、この姿勢に合わせた裾のラインを設計しました。

(3) クラッチに付いているカフで袖口がもたつくので、立つときだけ袖口を拡げてクラッチが袖の中に隠れるようにしました(図3の赤丸部分)。

(4) 車いすについている転落防止用のベルトをコートの中に隠せるように、脇にファスナーを付けて中に入れられるようにしました。

また、平成24年度には、コートと併せて、不意の雨を防ぐためのレインケープも開発しました。紙糸を使った織物に撥水加工を施しており、軽くてさらっとしているのが特徴です。

### 3. おわりに

先にも述べたように、当センターでは、伸縮性に富んだレディーススーツ、ジャケット、パンツ、「かっこいい」メンズコートなどの開発に取り組み、福祉衣料作りに関するノウハウを蓄積してきました。福祉衣料に関する商品開発に関する相談がございましたら、是非ご連絡ください。



図1 開発したレディースコート



図2 伸縮性素材



図3 広げた袖口



尾張繊維技術センター 素材開発室 島上祐樹 (0586-45-7871)

研究テーマ：究極のウェアラブルシステムの開発

担当分野：紡織関連